

平成21年度東区研修会生徒指導部

主題 「基礎的・基本的な学ぶ力を身につけ、豊かな心を育む学習指導の実践研究」
副題 生徒指導の機能を生かした学級活動指導
～グループワークトレーニングを生かした人間関係づくりを目指して～

1、活動名 色えんぴつ忘れちゃった（気球編）「情報を組み立てるGWT」

2、指導観

(1) 児童について

本学級は、男子14人、女子14人の28名である。全体的に真面目で、やるべきことはきちんとやりとげるのだが、学校や学級のために、自分から進んで何かをしようと取り組む姿はあまり見られない。

5年生からの持ち上がりで、担任もクラスの友達も変わっていないことから、お互いのことをよく分かっていて仲良く協力して学習も遊びも行っている。しかし、その反面、仲良しグループが固定したり、だれかがやってくれるだろうと人任せになったりしている。また、遊びのときに友達と一緒にやるより一人でやった方が楽しいと思っている子も数人いる。（1学期人権教育アンケートより）

1学期の学習において、自分の考えや思いを発言する児童が固定化してきている。国語科の学級討論会などでも、発言する児童が決まっていて、友達の意見は聞いていてもそれに対して自分の思いや考えを意見として発言することは少なかった。

(2) 活動について

本題材「色えんぴつ忘れちゃった（気球編）」では、情報カードをもとに、各自が持っている色えんぴつで、グループで協力して下絵のぬり絵を完成させる活動を通して、協力することの大切さや一人一人の良さに気づき望ましい人間関係をつくることをねらいとしている。

本題材は、話す側は、自分もっている情報カードの内容を正確に伝えること、聞く側は、友達の話（情報カードの内容）を正確に聞き取る力と態度が求められる。そこで、情報を正確に伝え合うためには、「話すことが苦手な子」「聞くことが苦手な子」も責任を持って活動に参加する必要性が生まれ、一人一人を認め、友達の良さに気づくことができる。また、情報を伝え合うだけで誰かがそれをまとめてくれるのではなく、グループのみんなでもとめたり、情報に沿って自分の分担の色えんぴつを使ったりすることで、意欲的に活動に参加でき、協力することの大切さ、みんなでもやり遂げた達成感などが実感できる。これらのことを学ぶことができる上でも、非常に意義のある題材と考える。

(3) 方法について

本題材の指導にあたっては、まず、1学期や2学期にしたGWTの学習を想起させ、伝え合う活動がしやすいように4人グループを作るようにする。

次に、課題や約束を板書することで分かりやすく説明し、めあてをしっかりとつかませる。活動の約束を守って、みんなでも協力してぬり絵を完成するように意識させて、活動に取り組ませる。

活動中は、机間巡視をすることで、一人一人が自分のすべきこと（情報を正確に伝える・友達の情報を正確に聞く・自分の持っている色えんぴつで丁寧にぬる）ができるように、助言をしたり、賞賛したりする。また、その時にグループの一人一人の良さに気づくような活動や姿が見られたら、声かけをする。できたグループには達成感を味わわせるように、グループみんなでも終了した合図をさせる。

振り返りの場では、「話す」「聞く」「協力」等の視点で、振り返りシートに自分の良かった所や友達の良かった所などを記入し、グループ内で発表し合う。その後、全体の場で、自他の良さや協力の大切さ等を発表させる。

3、本時目標

- 自分の情報を正確に話したり、友達の情報を正確に聞いたりすることができる。
- たくさんの情報から、課題を解決するために整理しまとめることができる。
- 自分の良さや友達の良さを、協力やすることの大切さなどに気づくことができる。
「学級活動(2)ウ」

4、生徒指導の視点に立った本時授業の工夫

- 自己決定の場を設定する。
 - ・ 自分の情報を正確に理解し、まとめる時に順番や関連性を考えながら発表することの大切さを考え自己決定させる。
 - ・ 振り返りの場で、自分の良かった所や友達の良かった所がどこなのか考え、一人一人の良さが一番出ていた所を選択し、自己決定させる。
- 共感的人間関係を育てる。
 - ・ 課題解決に取り組んでいるグループ活動の場で、友達の情報の出し方やグループの協力の良さに気づかせ、共感的人間関係を育てる。
 - ・ 振り返りの場で、グループの友達の良さを発表させ、共感的人間関係を育てる。
- 自己存在感(自己有用感)をもたせる。
 - ・ 課題解決に取り組んでいるグループ活動の場で、自分の情報や色えんぴつで色をぬる活動が課題解決に役立ったことを実感させ、自己存在感をもたせる。
 - ・ 振り返りの場で、自分の良さを振り返ったり、友達から自分の良さを発表してもらったりすることで、自己存在感をもたせる。

5、本時 平成21年10月19日(月) 第5校時

6、本時指導の考え方

本時の学習は、グループの中で情報カードをもとに、自分の情報を正確に伝えたり、友達の情報を正確に聞いたりすることの大切さや、グループの情報をまとめる中で、協力することの大切さや一人一人の良さに気づき望ましい人間関係をつくることをねらいとしている。

まず、今までにしたGWTの学習を想起させ、どのような活動をしたか、どんな所が良かったか想起させる。そして、グループを作り、情報カード・下絵・色鉛筆を配り、活動の準備をする。次に、課題と約束を聞き、めあてをつかませる。この時、課題と約束を板書することで、子ども達にしっかり確認させ、決まりを守って活動ができるようにしておく。

活動では、自分の情報をしっかり理解させてから、話し合い活動を始めさせる。自分の情報と友達の情報を伝え合う時に、お互いにしっかり伝える・しっかり聞くということを意識させる。また、情報をまとめるために、どこで自分の情報を伝えた方が効果的にまとめられるか考えながら活動させる。この時、机間巡視をしながら、活動がスムーズにいくように助言や賞賛をしていく。下絵が完成した時に、達成感を味わわせるために、みんなで終了の合図を出させる。

振り返りの場では、振り返りシートに、自分の良かった所・友達の良かった所等、「話す」「聞く」「協力」の視点で記入し、まず、グループ内で発表し合う。その時に、グループの友達一人一人の良さが発表できるようにして、自己存在感や共感的人間関係が高まるようにしておく。その後、全体の場で、友達の良さやグループ内の協力の良さ等を発表させる。

7、準備

教師・・・情報カード・下絵・色鉛筆・振り返りカード・課題、約束、正解、(掲示用)
児童・・・筆記用具

8、本時の展開

配時	学習活動と内容	子どもの姿	生徒指導の視点に立った支援
7分	<p>1. 本時活動の課題を聞き、めあてをつかむ。</p> <p>(1) 今日のGWTの内容とルールの確認をする。</p> <p>① 情報カード、下絵、色鉛筆を配る。</p> <p>② 課題を説明する。</p> <p>~~~~~ 課 題 ~~~~~</p> <p>「まあくとさっちゃんは、ぬり絵をしようと思いました。でも、色えんぴつを忘れてしまいました。そこで、みんなが二人のかわりに色をぬってあげましょう。」</p>	<p>・前のGWTは、こんなところが良かったな。</p>	<p>○ 今までの活動を振り返らせる。(自己存在感)</p> <p>○ GWTの課題と約束等を理解し、見通しをもって活動に取り組むようにする。(自己決定)</p>
	<p>③ 約束を確認する。</p> <p>約 束</p> <p>1 これから配るカードは、裏返しにしてトランプのようによくきって、みんなに配ってください。</p> <p>2 自分がもらったカードは、人に見せてはいけません。</p> <p>3 カードに書いてあることは、グループの人に言葉で伝えてください。</p> <p>4 自分が持った色えんぴつは、自分だけが使えます。色えんぴつを人に貸してぬってもらってはいけません。</p>		
	<p>(2) 本時のめあてをつかむ。</p> <p>大事な情報を正しく伝え合い、協力してぬり絵を完成させよう。</p>	<p>・早くしたいな。</p>	<p>○ グループで活動する時に、お互いの顔を見て活動がしやすいようにする。(共感的人間関係)</p> <p>○ 自分の情報をしっかり理解させてから話し合いをさせる。(自己決定)</p>
18分	<p>2. 「色えんぴつを忘れちゃった(気球編)」をグループで取り組む。</p> <p>(1) 自分の情報カードを読み取る。</p> <p>(2) 情報を正しく伝え合い、協力して課題を解決する。</p> <p>(3) 課題を解決したら合図で知らせる。</p>	<p>・こんな情報が自分にあるぞ。</p> <p>・どんな時に自分の情報をだしたらいいかな。</p> <p>・やったあ！完成したぞ。</p>	<p>○ 自分の情報を正確に伝える</p> <p>・友達の情報を正確に聞くことを意識させて活動させる。(自己存在感・共感的人間関係)</p> <p>○ 協力して課題が解決できるように、机間巡視しながら声かけをする。</p> <p>○ 大きな声で終わったことをみんなに伝え、達成感を味わわせる。(自己存在感)</p>
12分	<p>3. 正解を知り、活動について振り返る。</p> <p>(1) 正解を見て、グループで答え合わせをする。</p> <p>(2) 振り返りシートに記入する。</p> <p>(3) グループ内で発表し合う。</p>	<p>・ぼくのことを言ってくれた。</p> <p>・うれしいな。</p> <p>・ぼくにもこんな所があったんだ。</p> <p>・みんなにそう思われてうれしいな。</p>	<p>○ 振り返りシートに、自他の良さやグループの良かったことを思い出しながら書き込ませる。(自己存在感・自己決定)</p> <p>○ グループ内で発表し合うことで、友達に認められた喜び等を味わわせる。(自己存在感・共感的人間関係)</p>
8分	<p>4. 活動をして良かったこと(自分・友達)を発表する。</p>		<p>○ 友達や自分の良さ、活動して良かったことを、クラスのみんなと共有させる。(自己存在感・共感的人間関係・自己決定)</p>